

2018 幻覚&妄想大会

ピアサポート賞 佐藤慎吾&ハナ様

あなたは、幻聴さんや電波におそわれて“ぱぴふ
ぺぽ状態”になっている仲間を“ピアサポート猫”の
ハナと一緒に、アイスやカップラーメンを買ってお見
舞いに行き、住む場所に困っている時には自分の
部屋に泊めてあげ、さらには深夜、突然あなたの部
屋に乗り込み「一緒に寝よう」とせまる女性メンバ
ーから逃げ回り、最終的には彼女を無理やり追い出
すこともなくやさしく隣の部屋に寝かせ1晩を明かし、
翌朝、朝食を食べさせて帰すなど、マザーテレサも
びっくりのピアサポートの実践をされました。

よって、ここに猫のハナと共に、ピアサポート賞を差
し上げます。記念品として、幻聴さんも喜ぶ「全国ご
当地ラーメン詰め合わせセット」と町内の人気店
「鵬龍」「八雲」のラーメン券、およびネコのはな用に
特性グルメ「キャットフード」を差し上げます。

2018年8月4日

幻覚&妄想大会実行委員長
石村 謙次 印

幻覚&妄
想大会実
行委員長
の印

2018 幻覚&妄想大会

サバイバル・カップル賞

高取義章さん & 中西敦子さん

「自分はダメな男」と公言され女性とは無縁な人生を、息をひそめて生きてこられた高取さんは、「慢性寂しがりや症候群ヤキモチが止まらないタイプ」の中西さんとの劇的な出会いの中で、デート代がかさみ家賃の支払いも困難になる金欠生活に陥り、飼い猫の「ゴン太」にエサをわけてもらう暮らしの中で、中西さんのヤキモチ爆発から喧嘩になり、お互いの部屋のドアを壊しあい、ダンボールで補修し、幾度となく「絶対別れる」という宣言をされながら、すぐ仲良くなり、今度こそは結婚すると宣言され婚姻届けを取り寄せたにも関わらず、中西さんのヤキモチさんが現れて大喧嘩になり婚姻届けを破り捨て、敦子さんは順調に入院の準備とスタッフへの連絡をされてから大量服薬し、入院をされました。

このたびは、幾多の困難を乗り越えながら結婚し、子育てをしてきたべてるの先輩たちの伝統をしっかりと継承されている頼もしく、楽しみなカップルとしてサバイバル・カップル賞を差し上げます。記念品として、べてる特性「二人をつなぐ系電話」と飼い猫のゴン太用の「高級猫缶」を差し上げます。

2018年8月4日

幻覚&妄想大会実行委員長

石村 謙次



2018 幻覚&妄想大会

当事者研究大賞 松村満恵様

あなたは、2012年に「焼き鳥は動物虐待である」という動物愛護の信念に基づき、焼き鳥屋の赤ちょうちんにパンチを食らわせ入院となりながらも浦河にたどり着き、そのエピソードが評価され見事幻覚妄想大会グランプリを獲得され、今日まで、「スキゾフレニア活りかけ症ワンネス 唯一最大の母、金森羅万象慈悲者」として世界中に平和の種をまいてこられました。

その中でも「人が勝手に部屋に入り、自分のものを盗む」という苦勞を抱えながらも、夢に見た「一人暮らし」挑戦され、「お金の管理をしたことがない」「一人で買い物をしたことない」「お料理したことない」「かぎを使ったことがない」暮らしから、みんなの力を活用して見事に一人暮らしを実現されています。

特に部屋探しの時、不動産屋さんにもペットの有無を聞かれ、「ユニコーンを飼っています」と正直に話したり、クリスチャンなのに、神社への参拝をかかさず、「相談する」「仲間を作る」「弱さの情報公開をする」「失敗もどんどんする」を大切に「世界平和」の研究をされています。

よってここに当事者研究大賞を差し上げます。記念品として研究がはかどるように、天使の羽根つきの縦型ホワイトボードを差し上げます。

2018年8月4日

幻覚&妄想大会 実行委員長

石村 謙次郎



2018 幻覚&妄想大会

ベストファミリー賞 長尾敏之&佳代子様

お二人は25年前、浦河日赤病院の精神科外来に、突然受診されました。敏之さんは酒臭い息を吐きながら千鳥足で、顔には無数の青タンをつくり、一方、佳代子さんは全身ケレン発作をおこしながら、まるでお互いが“っっかい棒”のように肩を寄せ合い、よろめきながらの受診でした。

それをきっかけに隣町から浦河に移住され、ときどきスリップや発作をかさねながらも、周りの応援をもらいながら二人の子育てを成し遂げ、今年は孫も授かる予定です。

敏之さんは、べてるの就労支援のスタッフとして働き、佳代子さんも“べてる麺めん”を担当されるなど、べてるの就労と子育て支援の歴史をつくってこられました。

よってここにベストファミリー賞を差し上げます。記念として、苦勞が多くて結婚式もする間もなく、記念写真も撮ったことのないお二人のために公開記念写真を撮って差し上げます。

2018年8月4日

幻覚&妄想大会

実行委員長

石村 謙次印

幻覚&妄想大会実行委員会
委員長の印

2018 幻覚&妄想大会

サバイバル賞 阿部雅人様

あなたは浦河で暮らしはじめて以来16年、オンラインゲーム金欠爆発に陥り、爆発を重ねる都度、おかげ様でべてるのドアや壁、家具が新くなる一方、さらなる慢性金欠状態に陥り、電気も止められ、生活が路上生活状態となり、食べ物、飲み物にも困る中で研究を重ね、深夜、喉が渇いた時には札幌の道警本部に緊急事態の110番をする方法を考案され、急いで駆け付けたスタッフに「ジュース飲みたい」と頼む凄技を実践された他、宮内庁から4兆円の入金があったと言ってトヨタの販売店に500万円のクラウンを買いに行かれ、試乗もしながら財布には3円しか入っていなかったなど、あなたの他を寄せつけないぶっちぎりのサバイバルぶりは、厳しい日本社会を生き抜く鏡です。

よってここにサバイバル賞を贈呈します。ここにあなたを爆発救援隊の隊長に抜擢し、救援旗と緊急サバイバル募金箱を差し上げます。

2018年8月4日

幻覚&妄想大会実行委員長
石村 謙次印

幻覚&妄想大会
実行委員長の印

2018 幻覚&妄想大会

グランプリ賞 長門浩二様

あなたは、長年、“やくざもん”がおくってくる迷惑電波に苦勞しながらもべてるで仕事に励み、一方、電波によって体調が悪い中でも仲間やスタッフと共に“やくざもん”がひそむ地域の訪問調査や電波の強弱のデータ取りなどを重ねながら、夕方に電波が強まること、女性スタッフとお茶会をすると弱まることを発見するなど、研究の進め方としても、仲間の模範となる取り組みをされました。

特に、あなたは電波による被害を解消するために積極的に警察や消防も活用されたおかげで地域の関係機関のネットワークがより活性化され、消防や警察に顔見知りも増えるという思わぬ波及効果を生みました。

よってここに幻覚妄想大会グランプリを差し上げます。記念品として、10月に帯広で開催される全道当事者研究交流集会の無料招待券と仲間づくりに向けた「名刺と名刺入れ」、悪質電波を防ぐ(かどうか怪しい)特性「イナズマピンバッジ」を差し上げます

2018年8月4日

幻覚&妄想大会実行委

石村

